

【令和7年 横手警察署管内の不審電話や詐欺被害について】

警察職員や金融機関職員をかたり、個人情報や口座情報を聞き出そうとしたり、SNSで知り合った相手に好意や親近感をいだかせて信用させ、現金や電子マネーを購入させて番号を聞き出すなどの詐欺の手口があります。

このような電話があった場合は、特殊詐欺を疑い、すぐに警察に相談してください。

防犯機能付き電話の利用や、電話の相手に録音していることを知らせることも特殊詐欺の被害防止に効果があります。また、国際電話がつかわれる場合もありますので、「+」から始まる電話番号に注意してください。

No.	標 題	発生日時	相談者	被害金品	概要
1	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年12月31日（火）から令和7年1月5日（日）まで	横手市居住の40代男性	現金12万6,000円	令和6年12月31日、マッチングアプリで女性を名乗る者と知り合い、LINEで連絡を取り合ううちに、相手に親近感を抱くようになった。その後、相手から、「自分が経営しているショッピングサイトがある」「私たちの将来の資金を貯めるためにやってみないか」等とショッピングサイトの運営を勧められ、相手から送られてきたURLにアクセスして手続きし、ショッピングサイトを開設した。その後、同サイトの運営者をかたる者から、売上金を受け取るには、先に商品の仕入代金を振り込むように指示され、個人名義の口座に12万6,000円を振り込み、だまし取られたもの。
2	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年11月下旬から同年12月20日（金）まで	横手市居住の40代男性	現金合計283万円	令和6年11月下旬頃、Instagramで女性を名乗る者と知り合い、LINEで連絡を取り合ううちに、相手に親近感を抱くようになった。その後、相手から、「自分の給料に満足しているか」「ネットショップを開業、経営してみないか」と勧められ、相手から送られてきたURLにアクセスして手続きし、ショッピングサイトを開設した。その後、LINEでコールセンターを名乗る者から、商品仕入れ費用名目で、指定された複数の個人名義の口座に現金を振り込むよう指示され、8回にわたり現金合計283万円を振り込み、だまし取られたもの。
3	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年12月27日（金）から令和7年1月14日（火）まで	横手市居住の40代男性	現金約645万円	令和6年12月27日、マッチングアプリで女性をかたる者と知り合い、LINEで連絡を取り合ううちに、相手に親近感を抱くようになった。その後、相手からSNS上で広告を配信すれば、後に利益が振り込まれるが、そのためには先に広告配信費用として現金を振り込む必要があると言われ、指定された口座に7回にわたり現金合計約645万円を振り込みだまし取られたもの。
4	愛知県警をかたる不審電話の発生について	1月20日（月）午前10時30分頃	横手市居住の40代男性	なし	相談者の携帯電話に「+8」から始まる番号から電話があり、愛知県警察をかたる男から「会社の詐欺グループを捜査している、過去にキャッシュカードを落としていないか、愛知県警に来られないか」などと言われた。相談者が電話番号を聞いたところ、「システム上110番すればつながる」などと言われたため、不審に思い、電話を切った。

5	愛知県警をかたる不審電話の発生について	1月20日（月）午後0時40分頃	横手市居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋8」から始まる番号から電話があり、愛知県警察をかたる男から「捜査上に名前が浮上している、今日愛知県警に出頭できるか」などと言われた。相談者が無理だと答えたところ、電話が切れた。
6	郵便局員をかたる不審電話の発生について	1月22日（水）午前9時30分頃	横手市居住の80代女性	なし	相談者宅の固定電話に郵便局員をかたる男から電話があり「家族は一緒に暮らしているか、お金を多くもらっているから手続をとりたい」などと言われた。相談者は不審に思い、客が来たと答え、電話を切った。
7	愛知県警等をかたる不審電話の発生について	1月22日（水）午後0時45分頃	横手市居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に、愛知県警をかたる女から「詐欺グループのリーダー格が逮捕された、家宅捜索をしたら、あなた名義のキャッシュカードが出てきた、リモートで取調べする」等と電話があった。電話は、警視庁の警察官や検察を名乗る男に代わり、「資金洗浄だから紙幣の番号を調べれば分かる、コンビニのＡＴＭに行ったら口座番号を伝えるので全額振り込んでください、振込が終わるまでは電話を切らないでください」などと現金を振り込むよう指示された。相談者は不審に思い、通話をしたまま横手警察署に立ち寄って警察官に相談したところ、相手は一方的に電話を切ったため、被害はなかった。
8	警視庁をかたる不審電話の発生について	1月24日（金）午後0時5分頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に非通知で電話があり、警視庁捜査二課をかたる男から「事件を調べているところで、あなたの名前が出ている」等と言われた。相談者は、相手が名前を名乗らなかったことを不審に思い、これから横手署に向かうなどと答えると、相手が電話を切ったため、被害に遭わなかった。
9	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	1月10日（金）から1月25日（土）まで	横手市居住の50代女性	アップルギフトカード 500万円分	被害者が、音楽グループ「Da-iCE」（ダィス）のTikTokをフォローしていたところ、1月10日、同グループメンバーを名乗るアカウントから被害者のスマートフォンに、「LINEのアカウントを教えてほしい」とのダイレクトメッセージが届いた。その後、LINEでやり取り中「私たちと会うには面会を申し込む必要があります費用がかかる、銀行から300万円借りて私に送ってください」などと指示された。被害者は、1月14日から1月25日までの間、コンビニエンスストアにおいて、22回にわたってアップルギフトカード合計500万円分を購入して相手に番号を送信し、だまし取られたもの。
10	大阪府警をかたる不審電話の発生について	1月30日（木）午後0時頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」で始まる電話番号から着信があり、警察を名乗る男から「特殊詐欺の犯人が捕まり、あなた名義のキャッシュカードが押収された」等と言われた後、大阪府警や検察を名乗る男に電話が代わり、ビデオ通話で逮捕状と書かれた紙を見せられ「あなたの口座を凍結する、犯人かどうかを確認するためにお金を振り込んでもらおう、照合すれば犯人かどうか分かる、100万円振り込めるか」などと言われた。相談者は不審に思い、近くの交番に相談に行き、被害はなかった。

11	特殊詐欺被害の未然防止功労に対する署長感謝状の贈呈について			なし	J A秋田ふるさと山内支店職員は、1月28日、来店した男性が送金手続きをしようとしたため、理由を確認したところ「未公開株を購入する」などと申し立てたことから、特殊詐欺の被害を疑い、警察へ通報するなどし、被害を未然に防止したもの。
12	大阪府警をかたる不審電話の発生について	1月31日（金）午後0時15分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に「+80」から始まる電話番号から着信があり、大阪府警をかたる男から「マネーロンダリングの事件の捜査中にあなた名義のキャッシュカードが出てきた、容疑者になっているので大阪府警に来てもらえないか、信用できなければ秋田県警に令状を持っていかせる」などと言われた。相談者は、電話をつないだまま近くにいた知人に相談したところ、詐欺の疑いがあると言われたため、電話を切った。
13	NTT代理店をかたる不審電話の発生について	2月1日（土）午前11時30分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者宅の固定電話機に、NTTの代理店をかたる自動音声から「この電話番号は2時間後につながらなくなります、詳しくは番号を押してオペレータに確認してください」と電話があった。相談者が固定電話機の番号を押したところ、電話に出たオペレータを名乗る男から「NTTの不具合です、お客様の個人情報を確認するので名前、生年月日を教えてください」と言われ、個人情報を答えたところ、電話が切れた。その後、男からの連絡はなく、現在のところ金品等の要求や被害はないが、不安に思った相談者が警察署に相談したもの。
14	NTTファイナンスをかたる不審電話の発生について	2月2日（日）午後2時頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に「+1」から始まる電話番号から着信があり、電話に出たところ、男の声で「NTTファイナンスの未納料金」に関する自動音声流れ「1」の番号を押すように指示された。自動音声の指示に従い「1」の番号を押すと、音声通話に切り替わり、男の声で「クラウドサービスの料金が未納のため半年分を納めて欲しい、既に法的措置に入っているので裁判所から通知が来るかもしれない」などと言われた。相談者は、全く身に覚えのないことであったため、不審に思い、電話を切った後に警察に通報した。
15	長野県警をかたる不審電話の発生について	2月7日（金）午後2時35分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号から電話があり、長野県警をかたる男から「保険証を手元に準備してください」などと言われた。相談者が無言のまま男の呼びかけに応じなかったところ、電話が切れた。
16	警視庁をかたる不審電話の発生について	2月13日（木）午後0時50分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号から電話があり、警視庁をかたる男から「今回、重大なことを伝えなければならない」などと言われた。相談者がどこの警察かや相手の連絡先を確認したところ、架空の電話番号を言われたため、不審に思った相談者が指摘したところ、電話が切れた。
17	長野県警をかたる不審電話の発生について	2月13日（木）午後5時10分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「+87」から始まる番号から電話があり、長野県警察をかたる男から「詐欺グループの捜査をしている、名前が名簿に載っている」などと言われた。相談者は電話の内容から詐欺だと思い、地元の横手警察署に確認すると言ったところ、男が電話を切った。

18	警視庁をかたる不審電話の発生について	2月13日（木）午後5時55分頃	横手市居住の60代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋87」から始まる番号から電話があり、警視庁をかたる男から「長野県警からの依頼だ、長野県警捜査二課で捜査している事件の名簿に名前がある、長野県警まで出向くことはできるか。」などと言われた。相談者は電話の内容を不審に思い、地元の警察に確認すると言ったところ、男が電話を切った。
19	警察官をかたる不審電話の発生について	2月14日（金）午後5時50分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる電話番号から電話があり、警察官をかたる男から「警視庁と長野県警で合同捜査をしている、捜査の過程であなたの名前が浮上した、今から長野県警に来ることはできるか、一人になれるか」などと言われた。相談者が一人にはなれない旨告げたところ電話が切れた。
20	不審電話の発生について	2月21日（金）午後3時頃	横手市居住の10代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、自動音声で「未納料金があります、このまま支払がないと法的措置に移行します、1番を押してください」などと言われた。相談者が「1」のボタンを押したところ、男が電話に出て「29万5,000円の未納料金がある、間違いで登録した場合は救済措置で95%オフとなる、親の生年月日を教えてください」と言われた。相談者が親の名前と生年月日を答えたところ、さらに男から家族構成を聞かれたことから、相談者は詐欺を疑い電話を切った。
21	携帯電話会社等をかたる不審電話の発生について	2月25日（火）午後2時30分頃	雄勝郡東成瀬村居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、携帯電話会社を名乗る女から「あなた名義で不正契約されている、迷惑電話が多数発生している」などと言われた。その後、福岡県警捜査第二課を名乗る男に電話転送され「本来被害届は受け付けないが、今日は特別に受ける、あなたの電話を緊急停止することもできる」等と言われたことから、相談者は詐欺を疑い電話を切った。
22	愛知県警をかたる不審電話の発生について	2月27日（木）午前9時15分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、愛知県警察をかたる男から「あなたの銀行口座が犯罪に使用されている、容疑者の一人なので話を聞いてもいいか」などと言われた。相談者が、相談するのでもう一度電話してほしいと答えたところ、男は「公開捜査でないので他の人には言わないで」などと言って電話を切った。
23	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年10月19日（土）から令和7年1月17日（金）まで（2月に警察相談）	横手市居住の50代女性	暗号資産合計6,020万円相当	令和6年10月、インスタグラムを通じて韓国在住の男をかたる者と知り合い、LINEのやり取りをするうちに相手に好意を抱くようになった。相手から「いい投資の話がある、少額からでも始められるから大丈夫だ」などと投資に誘われ、暗号資産取引業者に登録し、暗号資産の投資を始めた。相手からは利益が出ていると説明を受けていたため信用し、指定された暗号資産取引用アカウントに11回にわたり、合計6,020万円相当の暗号資産を送金してだまし取られたもの。

24	警察職員等をかたる不審電話の発生について	3月1日（土）午後1時10分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号から電話があり、電話会社の職員をかたる男から氏名や生年月日を聞かれ「あなたの名前で携帯電話が不正に契約されている、契約先は青森県の店舗で、今から2時間以内に青森警察署に被害届を出さないと携帯電話が使えなくなる」などと言われた。相談者が行けないと伝え、緊急で被害届を受理するとして、青森警察署員を名乗る男に電話が代わった。住所や家族構成等を聞かれた後「捜査を進める上で、もう一度電話をかけるかもしれない」などと言われ、電話が切れた。不安に思った相談者が、職場の上司に相談し、詐欺の可能性を指摘され、警察に相談した。
25	警視庁職員をかたる不審電話の発生について	3月6日（木）午前9時50分頃	横手市居住の50代女性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号から電話があり、警視庁職員をかたる女から「あなたのキャッシュカードが犯罪に使用されています、この事件は京都で捜査しているので京都に来ることはできるか」などと言われた。相談者が行けないと答えたところ、
26	警視庁職員をかたる不審電話の発生について	3月6日（木）午前10時40分頃	横手市居住の40代男性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号から電話があり、警視庁職員をかたる男から「参考人として話を聞きたい、神奈川県警に来られるか」などと言われた。相談者が、「行けない、最寄りの警察署に確認してから電話する」と伝え、電話が切れた。
27	山口県警をかたる不審電話の発生について	3月8日（土）午後3時50分頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に「080」から始まる電話番号から男の声で電話があり「山口県警だが、マネーロンダリングの捜査であなたの情報が出てきた、山口県警に来ることはできるか」と聞かれた。相談者が行けないと答えたところ、男から「電話で対応するので一人になれるか、後でかけ直す」等と言われた。相談者は電話を切り、不審に思って警察に相談した。
28	警視庁をかたる不審電話の発生について	3月10日（月）午前9時30分頃	横手市居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に警視庁をかたる男から電話があり「あなた名義のクレジットカードが犯罪に利用されている」などと言われた。身に覚えがないことを伝え「今日中に宮城県警に出頭してほしい、令状を持ってそちらに行く」などと言われた。相談者は、時間がないから電話を切ると伝え、相手が電話を切った。
29	特殊詐欺被害の発生について	3月11日（火）	横手市居住の50代男性	現金合計約480万円	3月11日午前9時頃、被害者の携帯電話に警視庁捜査二課を名乗る男から電話があり「振り込め詐欺事件の被疑者が逮捕された、管轄が奈良県警なので転送する」などと言われた。電話の相手が奈良県警をかたる別の男に代わり、ビデオ通話で警察手帳らしき物を見せられ「あなたは口座を犯人グループに譲渡した、今すぐ奈良県警に出頭するか、資金調査が必要だ、出頭すると逮捕される」などと言われた。被害者は資金調査に応じると伝え、指定された口座に2回にわたり、現金合計約480万円を振り込んだ。被害者は相談した家族に詐欺だと指摘され警察に届け出た。

30	S N S型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年6月頃から 令和7年3月11日まで	横手市居住の 60代男性	現金約786万円	令和6年6月頃、被害者のフェイスブックにオーストラリア居住の日本人女性を名乗る者から「自分はガンで闘病中だ、資産家だった夫が残した財産を日本の困っている人に寄付したい、手続きを手伝ってくれたら財産の30パーセントをプレゼントする」などとメッセージが届いた。被害者は、財産を入れた荷物を韓国経由で日本に送るための輸送料や税金名目で、指示に従い、個人名義の口座に、計8回にわたり現金合計約786万円を振り込み、だまし取られた。3月11日、輸送会社を名乗る者から「荷物は秋田空港に入ったが関税が230万円かかるので通れない」と追加の支払いを求めるメールがあり、不審に思い警察に相談した。
31	大阪府警をかたる不審電話の発生について	3月12日（水）午後 4時10分頃	横手市居住の 40代女性	なし	相談者の携帯電話に大阪府警の職員を名乗る女から「詐欺事件の犯人があなたのカードを持っていた、あなたも共謀している可能性が出てきた、このことを誰かに言えば個人情報保護法違反になる」などと電話があった。相談者は電話の内容を不審に思い、警察に相談した。
32	警察官をかたる不審電話の発生について	3月15日（土）午前 11時頃	宮城県仙台市 居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に警察をかたる男から電話があり「詐欺グループの捜査であなた名義の口座が事件に使われていることがわかった」と伝えられた。相手が捜査二課をかたる男に代わり、LINE通話に誘導され、警察手帳のようなものを見せられ、「口座を詐欺グループに売ったことは罪になる、マネーロンダリングに加担した疑いがある」と言われた。来週また電話すると言われて電話が切れたが、不審に思った相談者が警察に相談した。
33	警視庁をかたる不審電話の発生について	3月17日（月）午後 5時頃	横手市居住の 70代女性	なし	相談者宅の固定電話に「800」から始まる番号から電話があり「警視庁遺失物総合窓口です、重要なお知らせがあるのでこのまま聞きたい場合は1を押してください」と自動音声 flowed。相談者宅の固定電話は留守番電話設定になっており、相談者は電話に応答せず警察に相談した。
34	デジタル庁等をかたる不審電話の発生について	3月19日（水）午後 1時頃	横手市居住の 60代女性	なし	相談者宅の固定電話にデジタル庁管理局のハセガワを名乗る男から電話があり「あなたの携帯電話から不特定多数に迷惑メールが送られている、1時間以内に電話を止める」と伝えられた。不審に思い電話を切ると、秋田県警のミズタニという男から電話があり「これから押収する、身に覚えはないか」と聞かれた。相談者が詐欺ではないかと話すと電話が切れた。
35	奈良県警をかたる不審電話の発生について	3月28日（金）午前 8時頃	横手市居住の 40代女性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号の電話があり、奈良県警を名乗る男から「あなたはある事件の関係者になっている」などと言われた。相談者がどんな事件ですかと尋ねると相手が口ごもったため詐欺の電話だと思い、電話を切った。
36	通信局等をかたる不審電話の発生について	4月2日（水）午前 8時5分頃	横手市居住の 70代男性	なし	相談者の携帯電話に非通知の着信があり、通信局をかたる女から「あなたが以前使っていた電話番号が悪用されている、電話を警察庁につなぐ」などと言われた。その後、警察庁サイバー局特別捜査隊の職員を名乗る男に電話がつながったが、相談者は対応できないと伝え、電話を切った。

37	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	3月17日（月）から 4月3日（木）まで	横手市居住の 60代男性	現金合計550 万2,500円	3月17日、被害者はInstagramで国内居住の女性を名乗る相手と知り合い、親近感を抱き、LINEで連絡を取り合うようになった。相手から、指定されたサイトのスクリーンショットを送ると報酬がもらえるというサイトの利用を勧められ、被害者が試したところ、画面上では報酬が生じたように見えた。その後、高収入の副業として「仮想通貨を購入すれば、より報酬がもらえる」などと言われ、被害者は指定された個人名義の口座に8回にわたって合計550万2,500円を送金した。被害者は、サイトにたまった報酬を受け取る手続きとして、約160万円を要求されたことから、4月3日に市内の金融機関へ融資を受けるために相談に行き、職員から詐欺ではないかと指摘された。
38	年金機構等をかたる不審電話の発生について	4月8日（火）午後 0時頃	横手市居住の 60代女性	なし	相談者宅の固定電話に年金機構の職員をかたる男から電話があり「年金の消費税分を払い戻す書類を送っている、この電話で申請を受け付けるので使用している金融機関を教えてください」と言われ、通帳の金融機関名と口座番号を伝えた。その後、金融機関の職員を名乗る別の男から電話があり「残額が50万円以上ないと振り込めない」と言われたため、相談者は「別の金融機関には50万以上ある」旨伝えたところ、男から「一番近いATMに通帳とキャッシュカードを持っていくように」と言われ、電話が切れた。相談者は電話が切れた後、不審に思い警察に相談したため、被害に遭わなかった。
39	厚生労働省をかたる不審電話の発生について	4月9日（水）午後 2時頃	湯沢市居住の 20代女性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号から電話があり、厚生労働省をかたる男に「あなたの保険証が悪用されている、被害届と無関係証明書を警察署に提出しないと保険証が失効になる」「長野県のクリニックで大量の向精神薬があなた名義の保険証で処方されている、長野県警に来られるか」などと言われた。相談者が行けないと答えたところ、男から「緊急通報制度を使って長野県警につながます」と言われたが、その後、電波が悪くなったことから電話は切れた。相談者は話の内容を不審に思い、警察に相談したことから被害に遭わなかった。
40 ～ 44	電話会社等をかたる不審電話の発生について（5件）	4月10日（木）午前 11時30分頃	横手市居住の 40代男性	なし	相談者宅の固定電話にNTTファイナンスをかたる自動音声で「料金が確認されないため使用を停止する、9を押してください」と流れた。その通りに操作すると男に代わり、男から住所、生年月日を聞かれたため答えた。男は「こちらで調べるのでお待ちください」と言って電話を保留にしたまま何の応答もなくなったため、相談者が電話を切った。 上記のほか、横手市の60から80代の男女4人の自宅に電話があり、自動音声や男の声で「携帯電話の契約をしているが支払いがない」「個人情報漏れている」などと言われた。

45	電話会社をかたる不審電話の発生について	4月11日（金）午前11時30分頃	横手市居住の60代男性	なし	相談者宅の固定電話に電話会社をかたる自動音声の電話で「料金の未払いがあり携帯電話を止める」などとメッセージが流れた。指示に従い電話を操作すると電話会社をかたる女から兵庫県警二課を名乗る男に代わり「詐欺事件の捜査をしたところ、あなた名義のキャッシュカードが使われており、あなたが詐欺の被疑者になる」と言われ出頭を求められた。出頭を拒否するとLINEのビデオ通話で運転免許証の提示と現在地の写真を送るよう言われ、指示通りにしたが、その後不審に思い、警察に相談した。
46 ～ 55	不審電話の発生について（10件）	4月12日（土）午前10時頃	横手市居住の70代男性	なし	相談者宅の固定電話にNTTドコモをかたる自動音声案内の着信があり「携帯電話の未納料金がある、不明な場合は7番を押してください」などと流れた。ボタンを押すとNTTのタカハシを名乗る男に「個人情報が出てきて携帯が契約されている、警察につなげる」と言われ、兵庫県警のナカムラマコトを名乗る男に電話が代わり、住所や氏名、携帯電話番号などを伝えた。その後、ビデオ通話をするよう求められたが、操作に手間取っていると「またかける」と言われ、電話が切れた。このほか、40から70代の男女9人の携帯電話や自宅の固定電話に、警視庁やNTTドコモをかたる不審電話があった。
56	架空料金請求詐欺被害の発生について	4月10日（木）から4月14日（月）までの間	大仙市居住の20代男性	現金合計19万5,000円	4月10日、被害者のInstagramに、簡単に稼げる副業を紹介するというメッセージが届いた。付記されたLINEのアドレスを通じ相手のアカウントに登録したところ、秘匿性の高い通信アプリ「テレグラム」をダウンロードし、資産運用サイトに登録するよう求められた。被害者はその後、テレグラムで女を名乗る者から指示され、動画配信サイトのスクリーンショットを送信したところ、決済アプリ「PayPay（ペイペイ）」に報酬として2,000円が送金された。被害者は4月14日、報酬がより高額な作業があると紹介され、必要な元金として指定されたペイペイに1万5,000円を送金したところ、高額資金を運用するというグループに招待され、指示に従い作業したが「一人3万円の損害が発生している」「全員が15万円を指定口座に振り込む必要がある」「システムエラーが解除されたら全額返還される」などと言われ、個人名義の口座に2回にわたり計18万円を振り込んだ。追加の送金を求められ、不審に思った被害者が警察署に相談した。
57	オレオレ詐欺の未然防止事案について			なし	北都銀行十文字支店に来た70代の男性が携帯電話で通話しながらATMを利用し振り込もうとしたが、ATMに不慣れな動作を不審に思った別の客が男性に声を掛け、さらに行員に事情を説明した。行員が男性から事情を聞いたところ、特殊詐欺の被害に遭い、振り込もうとしていることが判明した。行員は男性を説得して振込をやめさせたほか、警察に通報したため、男性は被害に遭わなかった。男性から話を聞いたところ、警察をかたる電話がかかってきて「詐欺グループを逮捕したところ、あなたの名前を出ている、口座番号や残高を教えてほしい」「警察で口座に入っている紙幣の指紋や番号を調べる、99万円を送金してほしい」などと言われたとのことであった。

58	特殊詐欺被害の発生について	4月12日（土）から 4月14日（月）まで	横手市居住の 50代男性	現金合計400万円	4月12日に被害者宅の固定電話にNTTドコモをかたる男から「兵庫県内であなた名義の携帯1台が契約されている、兵庫県警に被害届を出してほしい」と電話があった。電話の相手は兵庫県警の警察官を名乗る男に代わり「あなたの口座がマネーロンダリングに利用されている」と告げられ、男性は口座の銀行名や残高を伝えた。その後、相手の指示に従ってLINEや電話のやり取りを重ね、検事を名乗る男に「あなたの口座に残っているお金の紙幣番号を調べたい、残高の8割から9割を別の口座に移せば調べられる」などと言われ、指定された個人名義の口座へ14日まで3回にわたり現金を振り込んだ。送金後に相手との連絡が途絶えた。被害者は同様の詐欺の手口があるとインターネットで知り、警察に届け出た。
59	警察職員をかたる不審電話の発生について	4月25日（金）午前 10時10分頃	湯沢市居住の 50代男性	なし	相談者の携帯電話に、「+」から始まる番号から電話があり、埼玉県警をかたる男から「重要事件で名前が挙がっている、警察に来られるか」「過去3年以内に免許証やマイナンバーカード、クレジットカードを紛失していないか」などと聞かれたため、秋田県警に問い合わせると伝えたところ、電話が切れた。
60	特殊詐欺被害の未然防止功労に対する署長感謝状の贈呈について			なし	セブンイレブン横手雄物川店は、4月23日、来店した40代女性が高額な電子マネーを購入しようとしたことから理由を確認したところ、特殊詐欺被害が疑われたため、警察へ通報するなど適切に対応し、被害を未然に防止したものの。
61	SNS型ロマンス詐欺未遂の発生について	4月16日（水）から 5月3日（土）までの間	横手市居住の 70代男性	なし	4月16日、相談者はフェイスブックで片言の日本語を使う女性と知り合い、親近感を抱いて、LINEでやり取りを始めた。5月3日に「海外の大学で金融に関することを教えている叔父に教えてもらい、お金を稼いでいる、金が高騰しているので10万円ずつ出し合って、金を買わないか」などと誘われたが、怪しいと思い、警察に相談したため被害に遭わなかった。
62	SNS型ロマンス詐欺未遂の発生について	4月10日（木）頃から 5月11日（日）まで	横手市居住の 60代男性	なし	4月10日頃、相談者がマッチングアプリで海外在住とかたる女性と知り合い、3日ほど経過してからLINEのメッセージで連絡を取り合うようになった。相手女性から「高島屋のネットショップアプリに出店すると稼げるので手続きをしてください」などと誘われ、スマートフォンで手続きを進めた。その後、女性から「店に注文が入った、30万円で商品を前払いで購入してほしい」と言われたが、貯金がないので支払えないと伝えると、高島屋のカスタマーセンターとやり取りするよう指示され、カスタマーセンターに連絡したところ、契約違反の訴訟を起こすと言われたことから、警察に相談し被害に遭わなかった。

63	ウイルス除去名目の不審電話について	5月20日（火）午後6時50分頃	横手市居住の60代女性	なし	相談者が自宅のパソコンでインターネットサイトを見ていたところ、画面に「ウイルスに感染している」などと表示され、記された「010」で始まる電話番号に連絡した。対応した男に従ううちにパソコンを遠隔操作されたほか、スマートフォンに遠隔操作アプリをダウンロードさせられ、ネットバンキングの画面が表示された。やり取りの最中に不審に思い、家族に相談したところ、詐欺ではないかと言われたことから警察に相談した。
64	特殊詐欺被害の発生について	5月上旬から5月29日（木）まで	横手市居住の40代男性	現金合計約340万円	5月上旬、被害者がインターネットで融資先を探していたところ、資金調達会社のサイトを見つけた。同サイト内に会社の売上げなどを入力すると、この会社から「融資先を探す」と連絡があった。5月中旬頃、被害者は紹介を受けたメールや電話でやり取りし、500万円の融資を受ける前提で「融資額の10パーセントを保全預託金として振り込んでほしい」「振り込まれた金額は融資額と一緒に返金する」などと言われ、9回にわたり、指定口座に現金合計約340万円を振り込んだ。被害者は約束した期日までに融資額を受け取れなかったほか、別の名目でも振り込みを要求され、警察に相談した。
65	警察職員をかたる不審電話の発生について	6月2日（月）午前10時15分頃	横手市居住の40代男性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号から電話があり、埼玉県警をかたる男から「マネーロンダリングに関わった疑いがある、捜査過程であなた名義の金融機関のカードが出てきた」などと言われた。その後、警視庁をかたる男に電話が代わり、ビデオ通話に誘導され、警察官の制服姿の男に、警察手帳のようなものを見せられ、相談者は指示に従って個人情報や伝言、キャッシュカードを提示したりした。さらに、通帳の残高も聞かれたが詐欺を疑い電話を切った。
66	SNS型投資詐欺被害の発生について	令和6年8月27日（火）から令和7年5月1日（木）まで	横手市居住の30代女性	暗号資産合計515万円相当	被害者はインスタグラムを通じ知り合った相手から投資を勧められ、取引用に口座を開設し、昨年8月から今年5月まで計8回にわたり、指示を受けながらその口座を使って暗号資産を購入し、だまし取られた。6月14日になって相手のインスタグラムの投稿文が削除され、暗号資産の取引もできなくなったため、不審に思い警察に相談した。
67	秋田県警をかたる不審電話の発生について	6月18日（水）午前11時50分頃	湯沢市居住の50代女性	なし	相談者の携帯電話に、見知らぬ番号から電話があり、秋田県警をかたる男から「事件に巻き込まれているので話を聞きたい、時間はあるか」と言われた。相談者が忙しいと答えると、男は「また電話する」と言われ電話は切れた。
68	SNS型投資詐欺被害の発生について	4月下旬から6月30日（月）まで	横手市居住の50代女性	現金合計約1,450万円	4月下旬、被害者のスマートフォンに男性を名乗る相手から「投資に興味はないか」とLINEメッセージが届いた。連絡を取り合ううちに紹介された別のアカウントを通じ、投資仲間が集うというLINEグループに誘導された。被害者はグループメンバーに勧められ、投資サイトに登録した。その後、投資金や利益を出金する手数料の支払いを要求されるようになり、指定された個人名義の口座に6月30日まで10回にわたり、現金合計約1,450万円を振り込んだ。指示に従っても出金できず、さらに所得税として現金を要求され、不審に思い警察に相談した。

69	S N S型投資詐欺被害の発生について	3月下旬から6月6日（金）まで	横手市居住の50代男性	現金100万円	3月中旬、被害者は投資に関するユーチューブ動画を視聴し、配信者に促されて概要欄からL I N Eグループに参加した。グループ内で新規公開株の投資を勧められたほか、女性を名乗るアカウントを登録し、個別にメッセージのやり取りをするようになった。投資金を振り込むように指示された被害者は6月6日、指定された個人名義の口座に送金した。相手から送られてきたU R Lから投資状況を表示するというアプリを登録したところ、振り込んだ額が2倍に増えて利益が出たように示されていた。男性は再び投資を申し込んだが、高額な投資金を要求され不審に思い、警察に相談した。
70	特殊詐欺被害の発生について	7月6日（日）	横手市居住の60代男性	電子マネー利用権10万円分	7月6日、相談者の携帯電話に「利用料金について確認したいことがある」とのショートメッセージが送られてきた。記載された番号に電話すると、N T Tファイナンスをかたる男から「未納料金があり訴えられるかもしれない」と言われたため、指示に従いコンビニで電子マネー利用権10万円分を購入し、利用するための番号を教えた。その後、男から更に未納料金があるとの連絡を受けたことから不審に思い、警察に相談した。
71	特殊詐欺被害の発生について	6月下旬から7月22日（火）まで	横手市居住の40代男性	電子マネー利用権4万円5,000円分	6月下旬、自宅でフェイスブックを閲覧していたところ、女性を名乗るアカウントから友達申請があり、L I N Eで連絡を取り合うようになった。相手から別の女性を紹介され、その女性とデートするために、相手の指示に従って電子マネー5,000円分を送金した。その後、6,000円分の電子マネーが返金された。被害者は、紹介された女性とデートするには会員カードを発行する必要があると言われ、審査を行うという別のアカウントとL I N Eで連絡を取るようになった。支払った金額を全額返金するという相手の指示に従い、7月22日まで2回にわたり、電子マネー利用権計4万円分を送金した。返金がなかったため、被害者は詐欺を疑い警察に相談した。
72	宅配業者等をかたる不審電話の発生について	7月25日（金）午前10時頃	横手市居住の70代女性	なし	相談者宅の固定電話に宅配業者をかたる男から電話があり「あなたが札幌に送った荷物の本の中に現金が入っている、札幌緊急通報ダイヤルに回す」と言われた。その後、札幌中央警察署二課をかたる男に代わり「詐欺グループの犯人があなた名義の通帳を持っていた、仲間としての疑いがある、拘束に行く」などと言われたが、不審に思い電話を切った。
73	特殊詐欺被害の発生について	7月29日（火）から7月30日（水）までの間	横手市居住の60代男性	現金80万円	7月29日午後6時頃、被害者の携帯電話に＋で始まる番号から着信があり、N T Tのカワグチと名乗る男に「プライム会員の契約で未納料金が30万円ある」などと言われ、指定された個人名義の口座に現金30万円を振り込んだ。翌30日には＋から始まる別の電話番号から電話があり、サイバー犯罪対策課のサイトウと名乗る男に「ウイルス対策とプライム会員の解約をしなければ裁判沙汰になる、弁護士費用50万円を支払わなければならない」などと言われ、個人名義の口座に現金50万円を振り込んだ。被害者から相談を受けた家族が警察に通報して被害が発覚した。

74	SNS型ロマンス投資詐欺被害の発生について	6月上旬から8月3日（日）までの間	横手市居住の50代女性	暗号資産合計94万1,000円相当	被害者は、6月上旬、インスタグラムを通じて韓国人の男を名乗る相手と知り合い、LINEでやり取りを重ねるうちに親近感を抱くようになった。6月下旬、相手に「私の言う通り投資をすれば必ず利益を出せる」と誘われ、指示に従い6回にわたって合計94万1,000円相当の暗号資産を購入した。その後「資産が増える」として相手から投資先を紹介され購入した全額を送金した。8月3日に税金の支払いを指示されたほか、投資利益が不明なことを不審に思い、警察に相談した。
75	特殊詐欺被害の発生について	7月30日（水）から8月18日（月）までの間	横手市居住の20代女性	電子マネー利用権23万4,000円相当	7月30日、被害者がインスタグラムを閲覧中、副業に関する広告が表示されたことから、同広告をタップした。LINEに移行して表示されたアカウントを追加すると、相手に「動画のスクリーンショットを送るだけで稼げる」という副業を紹介された。被害者が指示通り画像を送ると、決済アプリPayPay（ペイペイ）に約1万円が入金された。その後、報酬がより高額な副業用アプリをインストールするよう求められて従った。被害者は相手からの課題として指定された時間に副業用アプリにログインしようとしたところ、操作を誤ったとして3万9,000円を請求され、相手から指定されたPayPayのアカウントに電子マネー3万9,000円を入金した。さらに「19万5,000円を振り込めば、報酬も上乗せして返金する」と伝えられ、8月18日に入金した。入金後、違約金の支払いを要求されたことから不審に思い、警察に相談した。